

水道水に関する意識／東京・大阪・中京圏

Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体の平均は7.02点

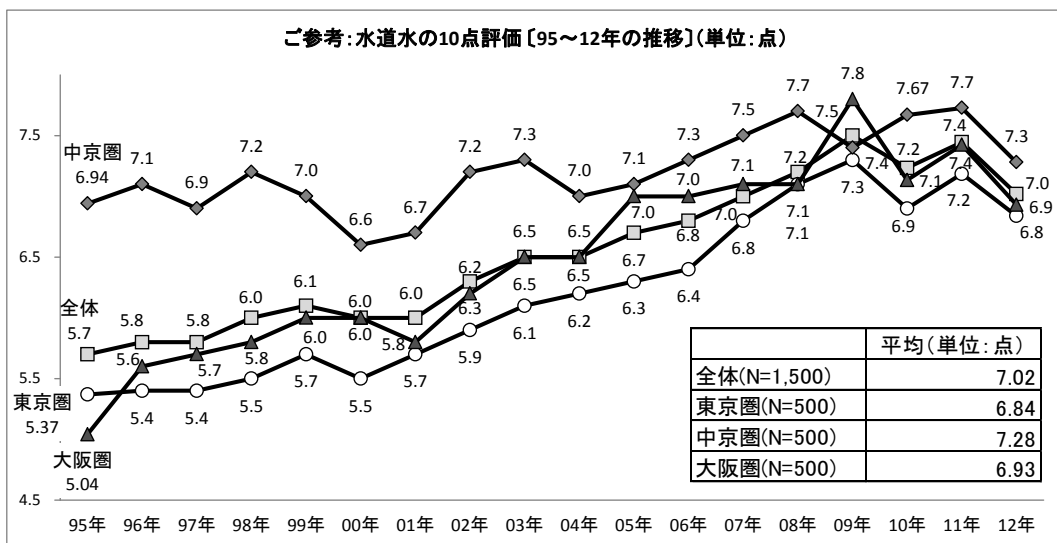
◇東京圏、大阪圏はともに7点台割れ

普及率は100%に近く、どこでも安全な水が飲める世界に誇るべき日本の水道。その水道水はどう評価されているのでしょうか？

10点満点で聞いたところ、全体の平均は7.02点で、昨年(7.45点)を下回る結果となりました。

居住地別に見ると、中京圏がトップで7.28点。10点満点をつけた人も12.6%で、3エリア中で最多でしたが、いずれも昨年(7.73点/10点満点17.0%)を下回っています。また、東京圏と大阪圏は、ともに7点台を割り、それぞれ6.84点、6.93点でした。

東京圏では東日本大震災以降、金町浄水場(東京都葛飾区)で放射性物質が検出された話題や、今年に関東の一部で水道水からホルムアルデヒドが検出された問題などが影響したとも考えられ、大阪圏、中京圏においてもこれらの報道による影響が要因になっているのかもしれませんが。



*ご参考までに2011年までのデータを入れ込み、推移グラフとしました。

対象エリア：1995年…東京都、大阪府、愛知県、1996～2012年…東京圏(1都3県)、大阪圏(2府1県)、中京圏(3県)

有効回答数：1995～2009年…467～554、2010～2012年…1,500

Q.水道水について不満を感じていることは？（8択＋その他＋特に不満はない）

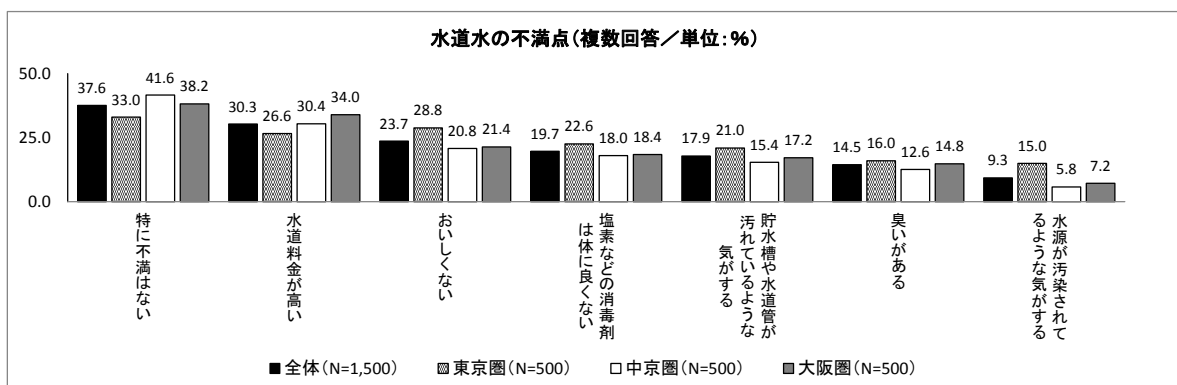
◇1位は「特に不満はない」

◇不満のトップは「料金が高い」

「水道水に対する不満」を聞いたところ、37.6%が「特に不満はない」で、昨年(36.9%)に続き1位でした。

一方、「不満」の1位は「水道料金が高い」(30.3%)で、「おいしくない」(23.7%)が2位でした。

居住地別に見ても「特に不満はない」は各エリアでトップ(東京圏：33.0%、中京圏：41.6%、大阪圏：38.2%)で、中京圏、大阪圏は「水道料金が高い」「おいしくない」と続き、東京圏のみ「おいしくない」が2位でした。水道水の評価は下がっているものの、使用する上での不満は感じていないようです。



Q.あなたの居住地域に、水に関して誇れることはありますか？

Q.水に関して誇れることは何ですか？

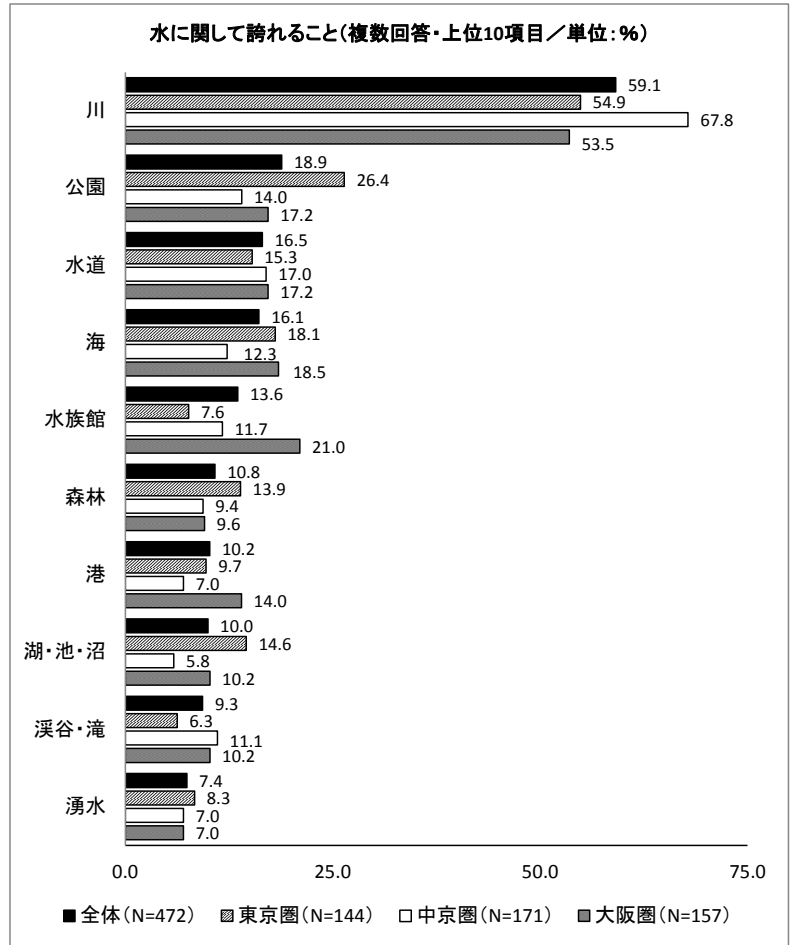
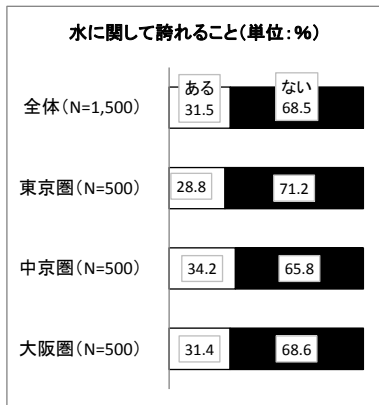
(15択+その他/前問で「誇れることがある」人のみ回答)

◇「誇れることがある」が約3割

◇水に関して誇れることの中で「水道」は3位

居住地域で「水に関して誇れること」を聞いたところ、「居住地域に水に関して誇れることがある」は全体の約3割(31.5%)で、昨年(29.0%)より微増。居住地別に見ると、東京圏が28.8%で最も少ないものの昨年(20.8%)より8.0ポイント上昇し、全体を押し上げました。

次に、「誇れることがある」人を対象に、具体的に「何か？」を聞いたところ、59.1%が「川」で1位、次いで「公園」が18.9%で2位でした。昨年2位(17.9%)の「水道」は3位(16.5%)に下がりましたが、東京圏では15.3%(4位)と、数値・順位ともに昨年(9.6%・7位)より上昇しました。



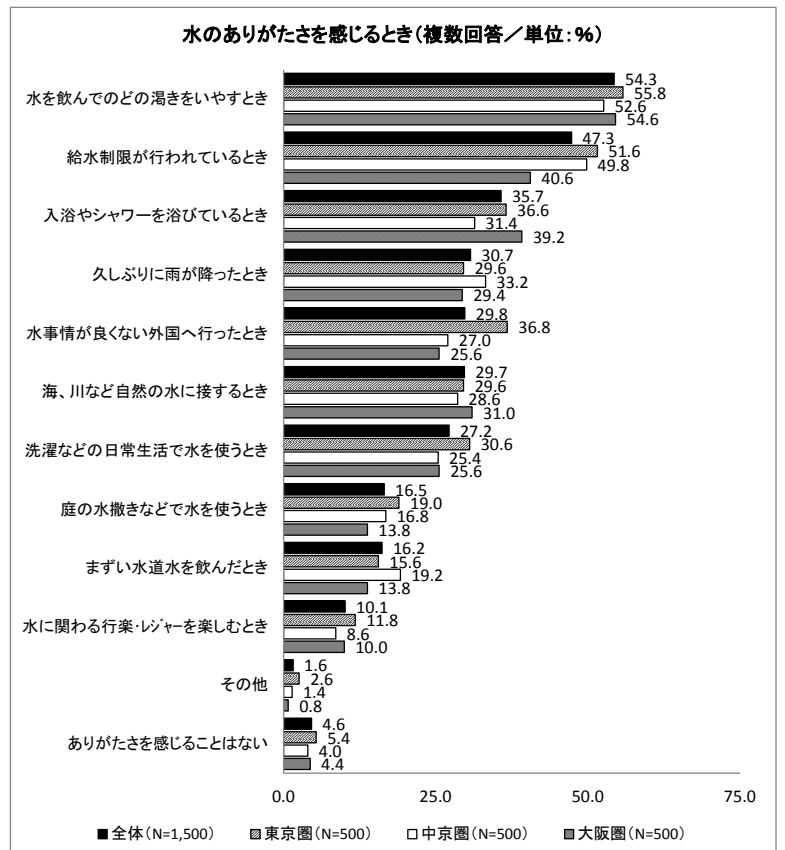
Q.水のありがたさを感じるときは？

(10択+その他+感じることはない)

◇1位は「のどの渇きをいやすとき」

水のありがたさをどんなときに感じるかを聞いたところ、「のどの渇きをいやすとき」(54.3%)に半数を超える回答があり1位、以下、「給水制限のとき」(47.3%)、「入浴やシャワーを浴びているとき」(35.7%)と続き、トップ3は昨年と同様でした。

居住地別に見ても、数値に大きな差はありませんでした。

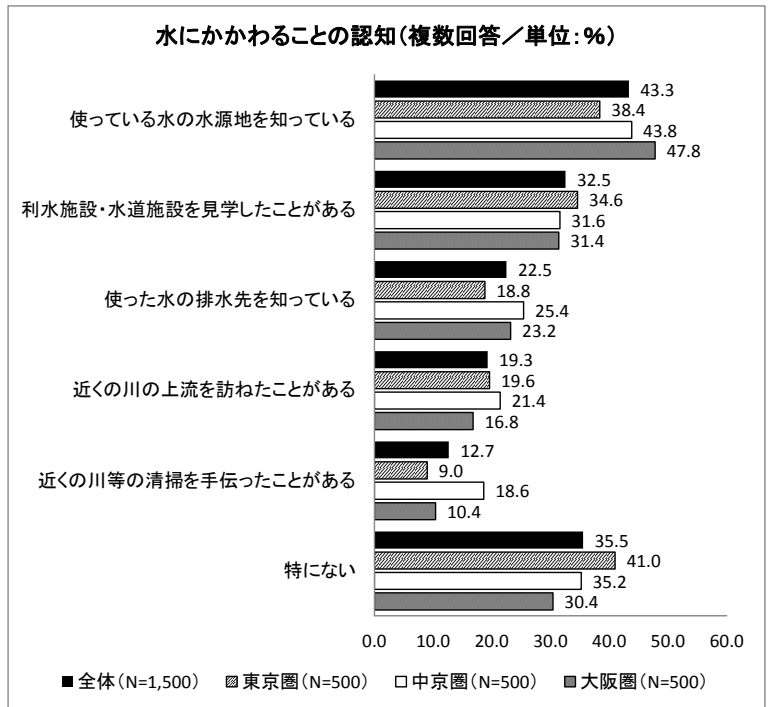


Q.水にかかわることで知っていること、経験のあることは？（5択+特にない）

◇4割超が「水源地を知っている」

水にかかわる事例を5つあげて認知・経験を聞いたところ、全体の4割超（43.3%）が「使っている水の水源地を知っている」と回答。次いで多かったのが「特にない」（35.5%）でした。

年代別にみると、「水源地を知っている」は20代（23.0%）、30代（35.3%）、40代（45.3%）、50代（53.0%）、60代（60.0%）と、年代が上がるほど水源地の認知が高く、「特にない」は60代（22.3%）、50代（26.3%）、40代（35.3%）、30代（45.0%）、20代（48.7%）と、年代が低いほど水に対して無関心な傾向がうかがえました。



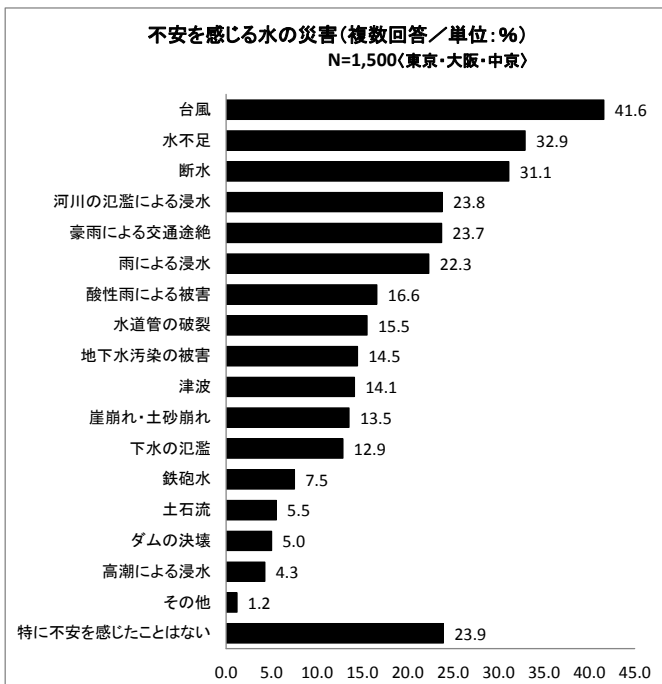
水と災害／東京・大阪・中京圏

Q.不安を感じる水の災害は？（16択+その他+特に不安を感じたことはない）

◇不安を感じる水の災害トップ3は「台風」「水不足」「断水」

◇東京圏の5人に1人は「断水」が最も不安

「不安を感じる水の災害」について聞いたところ、トップ3は「台風」（41.6%）、「水不足」（32.9%）、「断水」（31.1%）で、「水不足」「断水」が上位に挙げられ、“水道水がなくなる”ことへの不安が高いことを感じさせた一方で、4人に1人が「特に不安を感じたことはない」とし、日頃の危機意識に不安の残る結果となりました。次に、「特に不安を感じたことはない」の回答者を除いて「最も不安を感じる水の災害」を聞いたところ、東京圏のトップは「断水」（19.0%）、中京圏では「河川の氾濫による浸水」「雨による浸水」がそれぞれ2位、3位と上位でした。東京圏は昨年の東日本大震災の影響による「断水」の被害を受け、中京圏は2000年に東海豪雨で被害を受けており、これらの経験がそれぞれの結果に表れたといえそうです。



不安を感じる水の災害トップ5（複数回答／単位：％）

	東京圏 (N=500)	中京圏 (N=500)	大阪圏 (N=500)
1位	台風 39.4	台風 46.8	台風 38.6
2位	水不足 35.4	水不足 33.6	水不足 29.8
3位	断水 35.4	断水 31.0	特に不安を感じたことはない 28.0
4位	豪雨による交通途絶 26.0	河川の氾濫による浸水 30.6	断水 27.0
5位	特に不安を感じたことはない 22.2	雨による浸水 29.0	河川の氾濫による浸水 22.8

※東京圏のみ「水不足」「断水」が同率2位